

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

≪試料・情報の利用目的及び利用方法≫	●研究の名称 「Fracture Liaison Service (FLS) 患者における入院中の認知機能下位項目と退院後 6 か月の FIM との関連」
	●研究の対象 2024 年 6 月から研究機関の長による実施許可日までの期間に当院で大腿骨近位部骨折の診断を受け、Fracture Liaison Service (FLS) の対象となった患者さん 30~40 名
	●研究の目的 大腿骨近位部骨折などの脆弱性骨折を有する高齢者において、入院中の認知機能は退院後の機能予後を予測する重要な指標であることが報告されています。FLS 介入対象となる患者において、入院中の認知機能下位項目（例：注意・記憶・遂行機能など）と退院後 6 か月の ADL との関連は十分検討されていない領域です。本研究は、FLS 患者における入院中の MoCA-J 下位項目得点と退院後 6 か月の ADL との関連を明らかにすることを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から 2030 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。
≪利用し、又は提供する試料・情報の項目≫	●研究に使用する試料・情報 ・年齢、性別、骨折部位（大腿骨近位部）、入院期間（日数）、退院先（自宅／施設／転院） ・MoCA-J 総得点、MoCA-J 各下位項目得点（注意・実行

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	<p>機能、言語、記憶、視空間認知、遅延再生、見当識など）（入院中に通常診療で実施されたもの）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ FIM 総得点、運動項目得点、認知項目得点（Functional Independence Measure）の退院時と退院後 6 か月 <p>※入院期間、外来通院時に通常診療で実施されたもの</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名</p> <p>機関名：浜松医科大学 責任者名：山内克哉</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止(受付方法含む)》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： リハビリテーション部 担当者： 小柴皓嗣 TEL： 053-435-2746 E-mail： hkoshi13@hama-med.ac.jp
----------	---